

エコアクション21

環境経営レポート

2022年度版
(2022年8月～2023年7月)

東洋緑地建設(株) 

発行 2023 年 8 月 20 日

環境経営方針

●基本理念

近年の造園業は官公庁工事、民間工事ともに受注高が低迷しており、競争の激化から受注単価も大きく低迷している為、業界を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

さらには東日本大震災の影響で工事の発注を控えるケースも多く、各事業者の経営を圧迫しています。

しかし、ヒートアイランド現象への対策や都市景観の改善など、景観への意識の高まりから、都市緑化市場が注目されはじめており、技術開発や異業種からの新規参入も増えています。

このように我々のコア事業である造園・緑化工事は近年大きく様変わりしつつあります。環境に対する意識の高まりや法整備に伴い、建築物の屋上・壁面緑化が増えています。また、ビオトープなど周辺環境との調和を目指した空間づくりの仕事も増えてきました。

東洋緑地建設(株)は造園工事・土木工事・石工事の施工、植栽維持管理業務を通じて「快適な暮らしと環境」「地球環境への調和」を掲げ、全社員が事業活動のあらゆる局面で、地球環境に影響を与えていることを認識し、配慮して行動します。また、環境経営の継続的改善を推進します。

●行動指針

- ・省エネルギーの推進
- ・二酸化炭素排出制限への取り組み
- ・廃棄物の削減
- ・節水活動
- ・事務用品のグリーン購入の取り組み
- ・建設材料や副資材等のリサイクル化
- ・環境負荷の低減に資する設計・提案の推進
- ・化学物質の適正管理の推進
- ・環境に関する法規を遵守し、環境マネジメントシステムの内容を全社員に周知徹底することで、環境に対する意識の向上に努めます。

制定 平成 24年 9月 25日

改定 令和 3年 12月 20日

東洋緑地建設株式会社
代表取締役社長 黒木 洋一



事業の概要

事業所名 東洋緑地建設株式会社

代表者名 黒木 洋一

所在地 本社 福岡市博多区板付5丁目11番2号
大野城営業所 大野城市瓦田1-11-34

環境管理責任者 竹原 進

連絡担当者名 竹原 進

連絡先 TEL 092-581-0688

FAX 092-573-3010

E-mail toyo-ryokuchi@vesta.ocn.ne.jp

事業の内容 土木及び造園工事・石工事・並びに植栽維持管理業務

事業の規模

	単位	R2	R3	R4
売上高	百万円	321	464	555
従業員数	人	8	9	9
事業所面積(本社)	m ²	91	91	91
事業所面積(大野城営業所)	m ²	23	23	23

当社の事業年度 8月1日～翌年7月31日

認証・登録範囲 (1) 組織

本社及び大野城営業所の全組織・全活動・全従業員

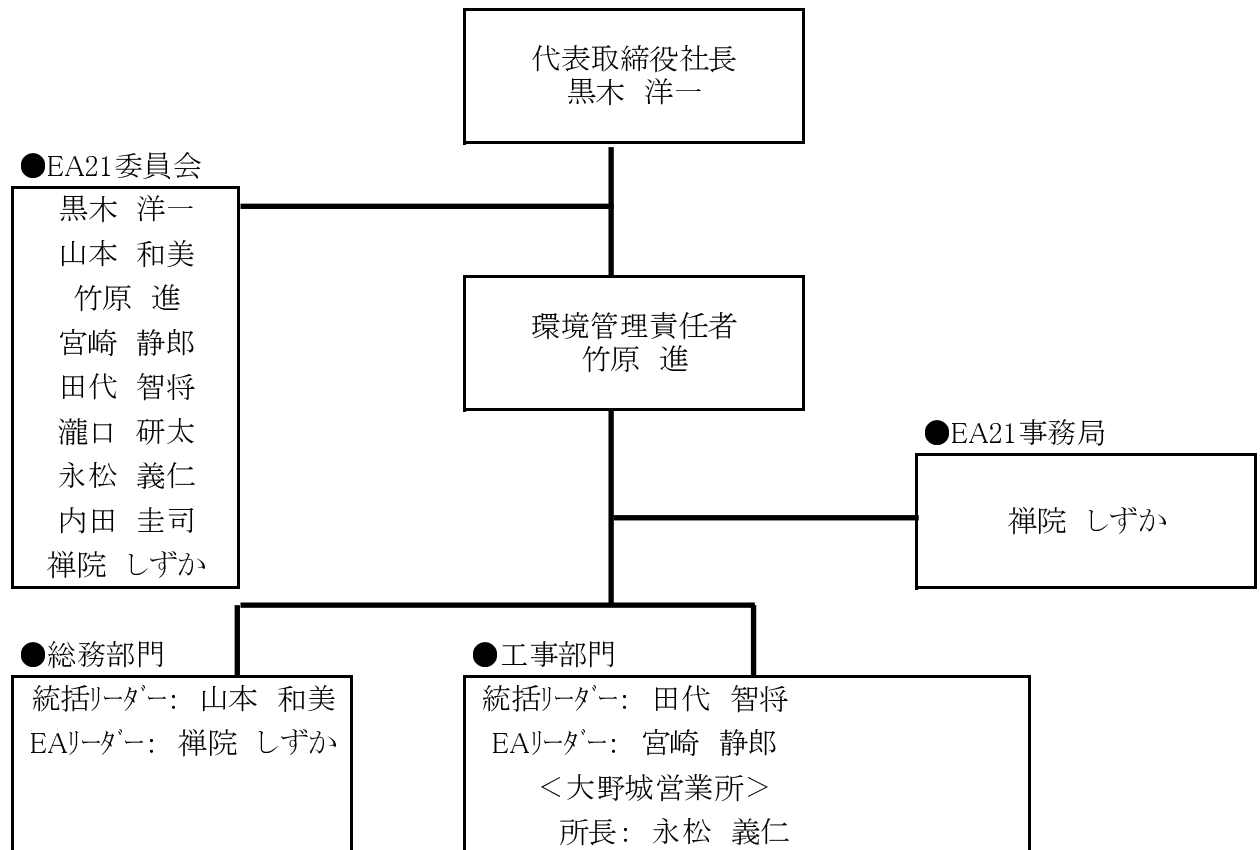
(2) 対象活動

土木及び造園工事・石工事・並びに植栽維持管理業務

創業年月日 昭和47年4月3日

資本金 3800万円

【実施体制】



役割分担表

氏名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
黒木 洋一	代表者 (代表取締役社長)	全体の統括・環境方針の設定・全体の評価と見直し
竹原 進	環境管理責任者 (工事部)	全体の把握/環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する。
EA21委員会		月に1回開催し、環境目標の達成状況及び、活動計画の実行状況を審議する。
EA21事務局		EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
山本 和美	総務部	EA21委員会及び環境管理責任者に必要な情報を提供するとともに、委員会の決定事項等を社内に周知し、EA21を着実に実施する。
田代 智将	工事部	工事部におけるEA21の遂行を統括する。
永松 義仁	大野城営業所	大野城営業所におけるEA21の遂行を統括する。
EAリーダー	各部門	・各部門におけるEA21の遂行管理にあたる。 ・各部門における環境教育を担当する。

1.当年度及び中期の環境経営目標

	単位	目標						
		2020年度 (基準年度)	2021年度		2022年度		2023年度	
			目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率
二酸化炭素排出量削減	kg-co2	82,516.0	81,699.0	1.0%	80,898.0	2.0%	80,112.6	3.0%
電力使用量の削減	kWh	4,640.6	4,594.7	1.0%	4,549.6	2.0%	4,505.4	3.0%
ガソリン使用量の削減	L	12,922.8	12,794.9	1.0%	12,669.4	2.0%	12,546.4	3.0%
軽油使用量の削減	L	19,529.7	19,336.3	1.0%	19,146.8	2.0%	18,960.9	3.0%
節水活動	-	節水活動	節水活動	-	節水活動	-	節水活動	-
一般廃棄物排出量の削減	kg	121,782	120,576.4	1.0%	119,394.3	2.0%	118,235.1	3.0%
建設副産物のリサイクル	%	100	100	-	100	-	100	-
化学物質の適正管理・維持	-	適正管理	適正管理	-	適正管理	-	適正管理	-
無事故・無災害の遂行	件数	0	0	-	0	-	0	-
苦情・クレームの削減	件数	0	0	-	0	-	0	-

・九州電力2020年度のCO2調整後排出係数0.479kg-CO2 / kWhを用いた。

・水の使用は賃貸マンションの為、共益費に含まれ、メーターも1個である。

従って、管理できず、目標は節水活動とした。

・化学物質は使用量が少ない為、目標は適正管理とした。

2.当年度の主要な環境経営計画の内容

2-1

1. 二酸化炭素排出量の削減

① 電気使用量の削減

- ・エアコン使用時間の短縮
- ・エアコン使用温度の設定(27℃)
- ・昼休みの消灯
- ・長時間席を離れる時、電源OFF
- ・残業時の不要な照明の消灯
- ・残業時間の削減
- ・在宅勤務の励行

② ガソリン使用量の削減

- ・エコドライブの励行
- ・運転経路の合理化
- ・アイドリングストップの実施
- ・低燃費自動車の利用
- ・車の乗り合わせ

③ 軽油使用量の削減

- ・重機のアイドリングストップの実施
- ・空ぶかしを行わない

2 節水活動

- ・水は流しっぱなしにしない。

3 一般廃棄物排出量の削減

① 紙使用量の削減

- ・ペーパーレス化の推進
- ・裏紙の利用
- ・印刷量の削減

② リサイクル施設の利用(紙、ダンボール等)

4 建設副資材のリサイクル化の推進

① 建設副資材の分別と再利用の促進

- ・コンクリート殻、アスファルト殻のリサイクル業者への処理の委託
- ・剪定枝等のリサイクル施設への処理の委託

5 化学物質の適正管理・維持

- ・取扱説明書をよく読み、注意事項を厳守する。

6 無事故・無災害の遂行

- ・定期的な安全パトロールの実施
- ・毎月の工程会議で安全意識の徹底を図る。

7 苦情・クレームの削減

- ・仮設計画や近隣への工事概要説明・事前挨拶

3.環境経営目標の実績 (事業所及び建設現場)

	単位	目標			
		2020年度 (基準年度)	2022年度		
			目標値	実績	達成 状況
二酸化炭素排出量削減	kg-co2	82,516.0	80,898.0	79,474.0	○
電力使用量の削減	kWh	4,640.6	4,549.6	4,513.0	○
ガソリン使用量の削減	L	12,922.8	12,669.4	12,550.0	○
軽油使用量の削減	L	19,529.7	19,146.8	18,681.0	○
節水活動	-	節水活動	節水活動	節水活動	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	121,782	119,394	112,501	○
建設副産物のリサイクル	%	100	100	100	○
化学物質の適正管理・維持	-	適正管理	適正管理	適正管理	○
無事故・無災害の遂行	件数	0	0	0	○
苦情・クレームの削減	件数	0	0	0	○

・九州電力2020年度のCO2調整後排出係数0.479kg-CO2 / kWhを用いた。

・水の使用は賃貸マンションの共益費に含まれ、メーターも1個である。

従って、管理できず、目標は節水活動とした。

・化学物質は使用量が少ない為、目標は適正管理とした。

4.環境経営の取組み結果の評価

二酸化炭素排出量の削減

- ・二酸化炭素の排出量の削減は目標80898kg-CO2であったが、実績は79599kg-CO2であり

目標値	80,898 kg-co2	であったが、
実績値	79,474 kg-co2	であり
	1,424 kg-co2	削減され、目標達成している。

電気使用量の削減

- ・エアコン使用時間の抑制により、目標達成できた。

ガソリン使用量の削減

- ・燃料(ガソリン)の使用量は目標に対して

119.4 L減り、目標達成している。

軽油使用量の削減

- ・軽油の使用は、重機作業での空ぶかしなどを抑制するよう働きかけ、目標を達成できた。

節水活動

- ・事業所内で使用する水道代は共益費に含まれるが、節水活動に取り組んでいる。

一般廃棄物の排出量の削減

- ・紙等のゴミは地域の古紙回収にてリサイクルし、排出量を減らすことができた。

建設副産物のリサイクル

- ・建設副産物のリサイクル率は100%であった。

化学物質の適正管理・維持

- ・薬剤の管理方法の手順書を従業員全員に周知させ、適正に管理できている。

無事故・無災害の遂行

- ・事故、災害は無かった。

苦情・クレームの削減

- ・苦情・クレームの削減は0件だった。

5.今後の取組み

- ◆ 事業所については、継続して運転経路の効率化やエコドライブを推進する。
尚、特に電気代のかさむエアコンの使用を極力控えるよう努力する。
NO残業DAYの実施。 車両の乗り合わせの推進。
在宅勤務の励行。
- ◆ 建設現場では前年度と比較し、公共の整備工事が増加した。
リース機械は排ガス規制基準を満たし、低燃費の機械を使用すること。
アイドリングストップ運動の実施。

6.環境関連法規等の順守状況の確認

- ◆ 「当社に適用される主な環境関連法規（廃棄物処理法、建設リサイクル法、騒音規制法、振動規制法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法、フロン排出抑制法等）の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去、現在迄ありません」

7.代表者による全体評価と見直しの結果

- ◆ 今期は大型の公共の整備工事が完工、民間の整備工事が元請・下請とも多く、年間管理業務（指定管理業務、福岡市街路樹管理）も有り、多忙な年度だった。災害によるゴルフ場の改修工事も増え、売り上げも大きく伸びた。燃料使用量・光熱費については、可能な限りリモートワークを推進し、在宅勤務、NO残業デーの実施等により極端な増加は抑えられている。

当社もエコアクション21に取り組んで10年以上経過した。今後も従業員互いに環境負荷に対する意識を高め合い、企業活動に取り組んでいきたい。